

食の祭典

南丹市ならではのスペシャルグルメを堪能

10月29日(土)・30日(日)
南丹市国際交流会館周辺

豊かな自然に育まれた南丹市の里の幸を生かした「食」を、市内外の皆さんに知ってもらうため「食の祭典」を開催。
自慢の加工食品や、鹿肉など地元の食材を生かした料理を販売する多くの店が軒を連ね、訪れた方のお腹と幸せな気持ちを膨らませていました。
初日には、加工食品コンテストやお茶に合うレシビコンテストの表彰式を開催。地元の食材や、その持ち味を生かした優秀作品が表彰されました。
二日目の昼食時には、園部吹奏楽団や園部高等学校、園部高等学校附属中学校吹奏楽部による合同演奏会が催され、迫力ある演奏で会場を盛り上げてくれました。



加工食品コンテストでは、10作品の中から南丹彩クッキー(作…菓子工房みもぎ)が最優秀賞を受賞。受賞作品は、市の推奨ラベルを貼って一般に販売されています。
また、お茶に合うレシビコンテストの洋菓子部門では、日吉町胡麻で手に入る柿や黒豆など、素材にこだわったパウンドケーキ(作…芦田範子)が、また、和菓子部門では、市内で採れた栗やごまのプチプチ感を生かした団子(作…山崎真季)がそれぞれ最優秀賞を受賞。受賞作品は、まちかどカフェやおもてなし茶席で振る舞われます。

■我が校のものがたり展

10月29日(土)～11月6日(日)
南丹市豊野遊センター



市内すべての小・中学校が、ものづくりの取り組みを発表。会場には、自然の素材を生かした作品や、実際に持って遊べる作品など、大小さまざまな977点が並びました。それぞれの作品の中に、児童や生徒のアイデアが盛り込まれており、ユニークな作品に思わず笑顔をこぼす方もおられました。

■子どもたちがデザインしたラッピングカー (電気自動車試乗体験)

10月30日(日)
南丹市国際交流会館駐車場



日産リーフ(電気自動車)を市の公用車として導入したことに伴い、側面のラッピングデザインを募集。市内各小・中学校、支援学校などから160点の個性豊かな作品が寄せられました。園部小学校5年の和田光結さんが最優秀賞。リーフは、「ものづくりのまち」や「環境にやさしいまち」をPRしながら、市内外を走っています。